令和３年度　茨城県 JRC 活動実践チャレンジ校
活動事例集

茨城県 JRC 活動実践チャレンジ校とは

新たに青少年赤十字（JRC）に加盟し、実践目標である「健康・安全」「奉仕」「国際理解・親善」に関する研究や活動等を通して JRC 精神の育成を図ろうとする茨城県内の学校等を指します。

日本赤十字社茨城県支部では年間 15 校程度をチャレンジ校に指定し、活動費の助成を通して、JRC 活動の充実と振興を図っています。

目次

地域交流や表現活動などを通した奉仕・共感する心の育成 P. 1

• 学校法人鮎澤学園　富士見幼稚園

自分とみんなの健康を考える P. 2

健康で質の高い生活を送る基本としての「食を営む力」の育成に向け、その基礎を培う

• 社会福祉法人愛の会　はーとぴあ保育園石岡

福岡小から世界を変えよう～SDGsの取組～ P. 3

• つくばみらい市立福岡小学校

美化活動を通した奉仕の精神の育成をめざして P. 4

• 古河市立古河第七小学校

あいさつと花がいっぱい活動～学校と地域の交流～ P. 5

• 高萩市立秋山小学校

生徒会本部企画「青葉中クリーン作成」 P. 6

美化活動をとおした勤労・奉仕の精神、郷土愛の育成をめざして

• 茨城町立青葉中学校

英宏の泉 P. 7

すべての人が健康であるために、わたしたちができること。

• 水戸英宏中学校

花育活動 P. 8

校内環境美化を通して奉仕の精神を育成する

• 霞ヶ浦高等学校

地域交流や表現活動などを通した奉仕・共感する心の育成

□ 学校法人鮎澤学園　富士見幼稚園

活動時期	活動場所	活動対象
令和3年5月～令和4年1月	園庭、園ホール	園児および園卒業生

地域の人々との制作・遊び交流や表現活動などへの関わりを通じて、自分から働きかけて楽しさと感動を共有しようとする心を育んだ。

プレイパーク（手作り工作・プラレール体験など）

人形劇の鑑賞

昆虫展の鑑賞

昆虫展を観察した後、思い思いに描画を楽しむ子供たちと作品

【まとめ】

年明け以降、新型コロナウイルス感染症が再び広がり始めたため、感染予防対策とのバランスに配慮することとなった。コロナ禍における当園諸活動をどのように地域に告知していくかを含めて、安全安心な環境をできるだけ整えながら、親と子と先生が活動テーマに沿って気兼ねなく参加して楽しめるような工夫を引き続き探求したい。

・自分とみんなの健康を考える

・健康で質の高い生活を送る基本としての「食を営む力」の育成に向け、その基礎を培う

社会福祉法人愛の会　はーとぴあ保育園石岡

活動時期	活動場所	活動対象
令和3年7月	園内	全園児

健康と食の繋がりを意識し、興味・関心を高めるために活動を実施した。

0.1 歳児
紙芝居「おいしいとびらをとんとんとん」

様々な形の食べ物に興味・関心を深めていく

2 歳児
ペープサート「グリーンマントのピーマンマン」

好き嫌いについて考える

3 歳児
エプロンシアター「モリモリ食べて、元気いっぱい」

バランス良く食べることの大切さを知る

4.5 歳児
大型絵本「おいしく食べよう！」

食と健康の繋がりに興味を持ち、普段の食事においても意識できるようにしていく

【まとめ】

各学年の年齢や発達に合わせた内容の教材を使用することによって、楽しみながら食への理解を深めていくことができた。

また、食育集会後には「絵本で見たのと同じだ！」「これは、骨になる食べ物だね」等の声が子どもたちから聞かれ、意識しながら食事をする姿も見られた。

紙芝居や大型絵本等、普段の保育に使用しやすい教材であるので、集会の時に限らず今後も定期的に取り入れながら、さらに子ども達の食や健康についての興味や関心を、高めていきたい。

福岡小から世界を変えよう～SDGsの取組～

つくばみらい市立福岡小学校

活動時期	活動場所	活動対象
通年	校内	保健・安全委員会の児童を中心とした全校児童

SDGs について知り、自分たちでできることに自発的に取り組みよりよい世界・社会を目指す人材を育てるために活動を行った。

自分たちで取り組める SDGs に関連した活動の実施

○ペットボトルキャップ・トイレットペーパーの芯の回収
保健・安全委員会児童によるポスターと放送による全児童への呼びかけを実施。
以降、家庭の協力を得ながら回収を継続している。

○「保健安全だより」の発行
高校生から聞いた話を保健・安全委員会児童がまとめ、全児童・全過程に SDGs の取組についての啓発を行った。

○ボランティア活動の実施
月１回の委員会活動の他、「SDGs 会議」と銘打ち、不定期での休み時間等に話合いの結果、ポスターと放送による呼びかけを行い、校庭の石ひろいと花壇の草取り週１会実施している。

○保健・安全委員会児童による学校保健委員会での SDGs の啓発
学校保健委員会の中で、保健委員会児童が 4～6 年生児童に SDGs についての説明を実施した。

○秋まつりでの SDGs クイズラリーの実施
保健・安全委員会児童が SDGs 各目標に関連したクイズを考え、そのクイズに全校児童で取り組んだ。
ゴール時には、全員に SDGs のロゴシールを配布し、児童全員が SDGs への取組を意識できるようにした。

高校生との交流

○茨城県立竹園高等学校生徒から、保健・安全委員会児童が SDGs とは何かについて説明を聞いた。
学校保健委員会に茨城県立竹園高等学校生徒を招き、4～6 年生児童が SDGs カルタについての解説を聞いたのち、一緒に「SDGs カルタ」を実施した。

【まとめ】

高校生との交流や SDGs カルタ実施を通して「SDGs とは何か」を知り、自分事として考え、活動する姿が見られた。

ペットボトルキャップとトイレットペーパー芯の回収が家庭だけでなく地域みの少しずつ広がりを見せ始め、保健・安全委員会児童の自己有用感を高めることにつながっている。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、12 月以降の活動ができない状況が続いてしまい、今後の活動のもち方や内容の検討が課題となっている。

美化活動を通した奉仕の精神の育成をめざして

古河市立古河第七小学校

活動時期	活動場所	活動対象
令和3年10月～3月	校内と通学路および三和いこいの家周辺	5.6年生

校内や通学路、隣接する福祉施設「三和いこいの家」周辺の美化活動をし、喜んでもらうことで、奉仕の精神を育てた。

花苗を育成し、校内および通学路に設置する。
　環境委員会児童が、花壇の整備、花苗のプランターへの定植、正門付近への設置、通学路の設置を行った。

秋の落ち葉が多くなる時期に校内、通学路、三和いこいの家周辺の落ち葉掃きをする。
　ボランティア委員会児童が、正門付近や三和いこいの家周辺の落ち葉掃きを行った。

【まとめ】

　児童の委員会活動を中心に行った。主に始業前の朝の時間で行ったため、長いまとまった時間がとれず、少しずつしかできなかった。

　プランターは、水やりを考え、学校周辺の通学路に設置した。次年度は少し離れた場所にも設置して多くの方に見てもらいたい。

　落ち葉掃きは週に２回行ったが、委員だけでは集めきれないときがあった。

　どちらの活動も、進んで人のためになる活動を実践しようとする意欲を育てることができた。

あいさつと花がいっぱい活動～学校と地域の交流～

高萩市立秋山小学校

活動時期	活動場所	活動対象
令和3年6月～令和4年2月	校内および学校周辺	栽培委員会、ボランティア委員会、運営委員会、学年児童

学校及び学校周辺の地域に「あいさつ」ができる児童、学校及び地域に親しみをもち「花」を育てることで貢献できる児童の育成を目指した。

学校や学校周辺の地域で「あいさつ運動」や「花を育てる」ことを行った。
保育園や幼稚園、中学校との連携や地域の協力を得ながら進めた。

【まとめ】

保育園や幼稚園、中学校との連携や地域の協力を図りながら、あいさつ運動を行うことができた。しかしながら、地域の方を多く招集してのあいさつ運動は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から実施出来なかった。

栽培委員会、ボランティア委員会、運営委員会、学年児童など、多くの児童が「花を育てる活動」を行うことができた。

生徒会本部企画「青葉中クリーン作成」

美化活動をとおした勤労・奉仕の精神、郷土愛の育成をめざして

茨城町立青葉中学校

活動時期	活動場所	活動対象
令和3年12月～令和4年3月	校内および学校周辺	1学年～3学年

生徒の環境美化への意識を高めるとともに、学校並びに茨城町へ貢献することを目的に実施した。

1学年
校舎内美化活動として、学級毎に分担し、校舎内の清掃等の美化活動を行った。

2学年
学校周辺の通学路を中心にゴミ拾いを行った。
学級毎に方面やルートを分担し、ゴミ拾い等の清掃活動を行った。

3学年
校舎内外の清掃活動に取り組んだ。県立高校入試が終わってから卒業までの間に教室等の清掃活動を行う。

【まとめ】

生徒会本部が企画・計画を行い、各学年委員会の委員を中心に「青葉中クリーン作成」を実施したことで、「生徒が協働して課題を解決する場の設定」を図ることができた。生徒は、とても意欲的で熱心に美化活動に取り組み、学校や社会のために働くことや環境を守ることなどへの意識を高めることができた。

今後も生徒が主体となって取り組む活動を増やしながら自主的に取り組む態度を育てるとともに、地域の方との連携を図ることへの活動を広げていきたい。

英宏の泉

水戸英宏中学校

活動時期	活動場所	活動対象
令和3年6月、10月	校内（英宏の泉）	科学部生徒、希望生徒、教職員、ボランティア

本校が取り組む「SDGs(持続可能な活滋目標)」の「国際目標⑮陸の豊かさも守ろう」への行動への一貫として実践した。

英宏の泉の清掃、整備
草木の整備、湿地の整備、廃棄物の撤去作業

自然（植物・生物）の保存活動
観察道づくり、ビオトープ整備、生き物(ホタルなど英宏の泉に生息する生き物)の観察

【まとめ】
英宏の泉を整備したことで、現代では観る機会が減少した蛍の観察ができ、自身の行動が生き物の育成につながり、また SDGs 国際目標の貢献に繋がったことを、生徒が実感できる活動となった。

すべての人が健康であるために、わたしたちができること。

水戸英宏中学校

活動時期	活動場所	活動対象
通年	校内	全校生徒、全教職員

本校が取り組む「SDGs(持続可能な活滋目標)」の「国際目標③すべての人に健康と福祉を」「国際目標⑩人や国の不平等をなくそう」への行動への一貫として実践した。

令和３年４月から令和４年２月の期間でペットボトルキャップを回収。
回収したペットボトルキャップキャップを洗浄した。
（感染対策のため、教員が洗浄を実施。）
洗浄したキャップは、３月に近隣商店に回収してもらう予定。

【まとめ】
校内に自販機が設置してあるなど、ペットボトルが身近にあることから、生徒にとってペットボトルキャップの回収は実施しやくす、かつ中学生でもできる国際貢献であったと考えられる。また、SDGs の観点から、ペットボトルキャップ以外での部分の分別等を行い、ペットボトルの完全循環を心がけるなど、今回の活動から派生して、地球環境に優しい取り組みについても考えることができた。

花育活動　校内環境美化を通して奉仕の精神を育成する

霞ヶ浦高等学校

活動時期	活動場所	活動対象
令和3年5月～令和4年2月	校内および校門付近	JRCボランティア同好会

校内環境美化を通して奉仕の精神を育成するために実施した。
生徒が花苗を育成することで、思いやりと優しさを身に付け、校内美化に貢献した。

正門付近、職員玄関に植木鉢 30 個、プランター20 個を設置。
輪番制で花苗の水やりを行った。

【まとめ】

コロナウイルス感染拡大を受け、様々な活動が制限される中、水やりやプランターの手入れなど、自主的に活動することができた。　今後は地域の方と交流をもちながら、予科練付近の花苗を育てる予定。